

1 主な報告等

(1) 少年の就労体験活動について

委員から、子どもたちのために関わっている大人がたくさんいることを知る良い機会である。就労体験を通して、子どもたちが職業選択をする際の導きになるので今後も継続してもらいたい旨の発言がありました。

(2) 少年の立ち直り支援活動に関する協定締結について

警察から、沖縄県警察と那覇少年鑑別所との間で、問題を抱える少年の立ち直り支援活動に係る協定を締結した旨の報告がありました。

委員から、少年の非行問題については警察の各種活動が必要である。今後も関係機関と連携し、少年の立ち直り支援などに取り組んでいただきたい旨の発言がありました。

(3) 地域に密着した交番・駐在所勤務員の活動について

委員から、今後も地域に密着した地道な活動を続け、地元の人たちと信頼関係を築いてもらいたい旨の発言がありました。

(4) 那覇市内における飲食店店主殺人事件被疑者の検挙について

委員から、非常に難しい事件だと思うが、捜査を徹底し真実を明らかにしていただきたい旨の発言がありました。

(5) 大麻取締法違反(営利目的共同所持)事件等の検挙について

委員から、一般人への薬物汚染の広がりが非常に懸念される。罪を犯した者は厳正に処分されることを積極的に広報し、薬物汚染の抑止につなげてもらいたい旨の発言がありました。

(6) チラシ・ポスター、反射材シールの寄贈について

委員から、とても分かりやすい資料(交通事故多発交差点ワースト5等)なので、チラシの内容を動画などにしてSNSにアップすれば事故抑止につながると思う旨の発言がありました。

(7) 高病原性鳥インフルエンザ発生に対する警察措置等について

委員から、警察ができることを関係機関と連携して対応してもらいたい旨の発言がありました。

(8) その他

警察本部から、今年は行幸啓をはじめ、各種事件事故への対応、防犯活動など様々な業務を職員が一丸となって対応した。年末年始も引き続き業務は続くが、事案発生時には即時に対応できるようしっかりと体制を維持してまいりたい旨の発言がありました。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- 警察行政手続サイトにおける申請対象手続の追加について
- 公安委員会あて苦情の調査結果等について
- 公安委員会あて苦情の受理について
- 審査請求に対する裁決について
- 犯罪被害者給付金の裁定について
- 令和4年度犯罪被害者週間における啓発活動の実施について
- 監察関係報告

(2) 地域部

- 審査請求に係る報告について

(3) 交通部

- 自動車運転免許の行政処分について
- 令和5年度運転免許関係業務の委託に関する認定審査について
- 沖縄県公安委員会規則の新規制定及び一部改正について

(4) 警備部

- 警備情勢について
- 警察職員等の援助要求の取下げについて